

東京江東ロータリークラブ

2024~2025年度 テーマ

ロータリーのマジック

RI 会長 ステファニー A. アーチック
地区ガバナー 石川 彌八郎

ROTARY PRIDE

～再発見・新発見～
クラブ会長 大澤 栄一

今日の卓話

夜間例会
新年会

第5回クラブ協議会

次回例会案内

第5回
クラブフォーラム

国際奉仕委員会

No. **21**

第2927例会
2025年1月21日号

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

1/14 会員数 21名中 14名
出席率 70.00%
【訂正出席率】12/24 なし



会長・幹事報告



- 15日(水) 地区ローターアクト委員会 【政経同支社サロン】 ☆小野会員
- 16日(木) 地区連絡会 【石川酒造】 ☆鈴木会員
- 18日(土) 米山学友会新年交流会 【江東区総合区民センター】 ☆カンウヒョン君
- 21日(火) 新年会 第5回クラブ協議会 【イースト21東京】 ☆夜間例会【卓話者】 会員全員



ニコニコボックス



大澤会長：市川さん、今日はとても楽しみです！よろしくお祈いします！

堀幹事：今日もよろしくお祈いします。

伊藤(三)君：市川様、今日の卓話を楽しみに待っておりました宜しくお祈い致します。

青木君：市川さん、今日はよろしくお祈いします。娘さんの成人式おめでとございませう。

小嶋君：市川さん、本日卓話宜しくお祈い致します。

小野君：市川様、本日の卓話楽しみにしてお祈いします。

河西君：市川さん、本日はよろしくお祈いします。

末次君：市川様、卓話、楽しみにしてはいます。

大島君：皆様、インフルエンザが流行っています。気をつけてください。

伊藤(海)君：本日も宜しくお祈いします。

大屋君：市川様、本日は卓話楽しみにしてはいます。

野村君：市川様、本日は宜しくお祈い致します。

合計 55,000円
累計 1,084,000円



<委員会報告・その他>

次回例会は、2月4日(火)(昼例会)となっております。

※欠席される方は、例会前日の12時までに、事務局までお知らせください。

【配布物】週報 no.20、21

【回覧】C&C様寒中見舞い

米山奨学生 カンウヒョン君：奨学金進呈

小野会員：ロータリーの友見どころご紹介

ビジター：東京練馬西ロータリークラブ 内田 勲 様



2025年1月のロータリーレポート【1ドル157円】

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分~13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



本日は貴重な機会をいただき、本当にありがとうございます。東京臨海南 RC 所属、(株)横引シャッターの市川と申します。私は 2015 年に東京足立 RC に入会し、2023 年から東京臨海南 RC でお世話になっております。今年度、地区では若林財団委員長の下、ポリオプラス委員を拝命しており、ロータリー活動を楽しんでおります。

本日、お話をさせていただきます売上 2 億で借金 9 億、暗黒時代からの復活は、私が社会人になりたての頃の我が社で起きた我が社の実話です。

当時は、開発すれどもヒットせず！で積もりに積もった借金でしたが、借金の内容は普通の借金とは違い、1 億円が給与の遅配、1 億円が仕入先さんへの未払い、1 億円が税金の滞納、そして 6 億円の銀行借入という状態で社内も最悪でした。営業部のウソ報告は当たり前、目の前の作業が手間のかかるやり方でも『今までこうやってきたから』とやり方を変える事はせず、みんながみんな『自分は悪くない、悪いのはアイツのせいだ！』と他部署・他人の悪口ばかり。挙句の果てに『一発ヒットすればこんな借金は全部返済できる！』と、更に借金の上積みばかりをしている会社でした。そんな中、留学先の中国から帰国し、父の会社に入社し、現状把握から始めました。正確な金額は、当時の社長や経理部長でも把握ができない程の酷い有様だったので、一つずつ税務署や役所に連絡をし、滞納目録を集め集計し、約 9 億円もの借金がある事が分かりました。先代社長と経理部長と私の三人だけの席で借金の総額を伝えると、社長も経理部長もひと言も発する事ができず、最後に『これはみんなには伝えられないな・・・』と社長からのひと言で打ち合わせが終わりそうになったので『それではいつまで経っても借金は減らない。減らすには返済するしかない！』と言い、会社の負の遺産返済の担当に立候補を

しました。立候補をしても、社会人としてのキャリアがある訳でも、返済プランがある訳でもありません。

まずは手持ちの武器の確認として、今ある武器、努力次第で入る武器、欲しい武器と手持ちの武器の確認作業から始め、その武器を使って、一つずつの返済を始めました。返済原資はウソ報告が当たり前になっている営業部は信じる事が出来ません。

『外からが期待できないのであれば、中を出さない様にすれば良い』と考え、実行。『聖域なきゼロベース見直し』『慎次郎組』『貯金箱理論』などを行い、まずはみんなにゆとりを作る事を積極的に行いました。

また役所・労基・税務署などの外部との交渉では『顔を合わせて正直に』『腹切りの美学はない』と根気よく戦い『全面勝利ができなくても局地戦では必ず勝つ！』戦いを行いました。

社内では私以外は社長も含め全員『返済できる訳がない！』と諦めモードだったので、出しゃばると余計叩かれてしまう状態。

『出過ぎた杭になるまでは大人しく』『来るもの拒まず』『恩は武器になる』と一つずつ積み上げを行った結果、夢見るウルトラ逆転サヨナラ満塁ホームランばかりを狙うのではなく、目の前の事に対して『諦めない！』『泥臭くても、真剣さと熱意』を武器にポテンヒットの積み上げ、気が付いたら、6年で7億の借金を返済することができました。2011年1月の新年会で『これから金持ちの世界にやっと進んでいける。貧乏人が急にお金を持つと不幸にしかならないから、これからはお金の使い方を学ばなくてはいけない。』と話をした矢先の12月に創業者でもある先代社長が会議中に心不全で急逝してしまい、二つ目の地獄：史上最大の混乱期に突入してしまいました。

先代社長の急逝により『親父のクサビが取れた身内と一部の社員』が暴走し、計画倒産を画策し、私自身一度会社を追い出されてしまったのですが『親父が人生を掛けて作ってきた会社を潰す訳にはいかない！』と、臨時株主総会で代表権を交代し、私を信じてくれた10名の社員と一緒にリスタート。薄氷で出来た網を毎日綱渡りする日々が続きます。親身に手を貸してくれたコンサルも『慎次郎君が悪いんじゃない、まだ先代社長が作った借金が重過ぎて、戦いながらの会社復活はできない』と言われ、立ち去っていく中、私を含めた11人でその『史上最大の混乱期』を乗り越え、今の会社になりました。ここからこの話を続けると、時間オーバーどころじゃなくなってしまうので、また機会がございましたら、その続きをお話させて頂きたら幸いです。